



## 第29回日本創傷・オストミー・失禁管理学会 学術集会

PowerPointを使用した動画作成マニュアル

# 目 次

[1] 必要な機能	P. 3
[2] マイクの確認方法	P. 4
[3] 注意事項	P. 5
[4] 実際の操作	
PowerPointのバージョンを確認する方法	P. 6
A) Windows PowerPoint2019/Office 365の場合	P. 7
B) Windows PowerPoint2013/2016の場合	P. 12
C) Windows PowerPoint2010の場合	P. 16
D) Mac PowerPoint for Mac 2019の場合	P. 20
[5] 便利な機能	
①スライドごとの音声の確認方法	P. 30
②特定のスライドの音声を録音し直す方法	P. 31

# [1] 必要な機能

## 1. 音声入力ができる環境

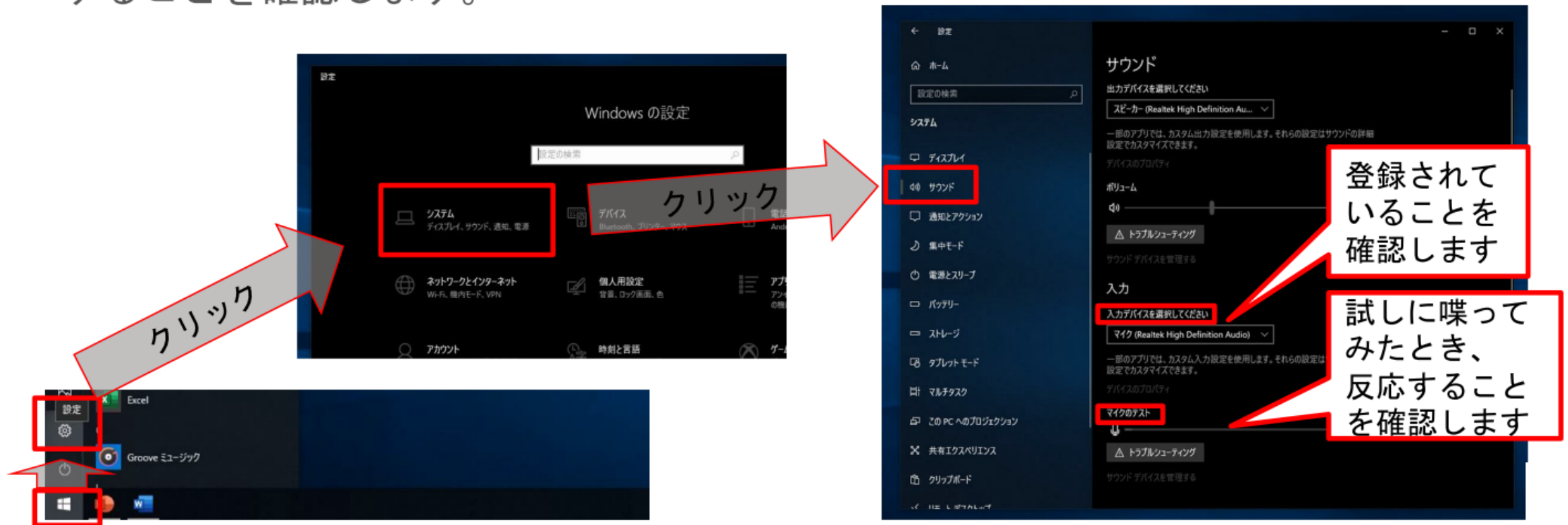
- 音声録音する時は、あらかじめパソコンにマイク（ヘッドセット等）を接続した状態で録音をスタートしてください。  
※マイクがない場合、PC の内蔵マイクを利用することも可能ですが、ノイズ（雑音）の影響が大きくなります。
- 録音の際は極力静かな場所で雑音が入らないようお願いいたします。

## 2. 特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

- Windowsの場合→ PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office 365 のいずれか
- Macの場合→ PowerPoint for Mac 2019, Office 365 のどちらか

## [2] マイクの確認方法

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。



### [3] 注意事項

- ・ 20分以上の講演を1本の動画にすると、ファイルの生成に時間がかかります。20分以上のご講演の場合は、**20分を目途にファイルを分割**してください。ファイルをつなげる作業は運営事務局で行います。ファイルの順番がわかるようにお送りください。
- ・ 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。**プレゼンで使用しなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除もしくは非表示スライドに設定**してください。
- ・ 作成いただいたファイルは運営事務局までお送りください。データの送付方法（指定サーバーにアップロード）はあらためてご連絡いたします。

お問合せ先

第29回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会運営事務局（株）コングレ内

E-mail: web-jwocm2020@congre.co.jp

## [4] 実際の操作

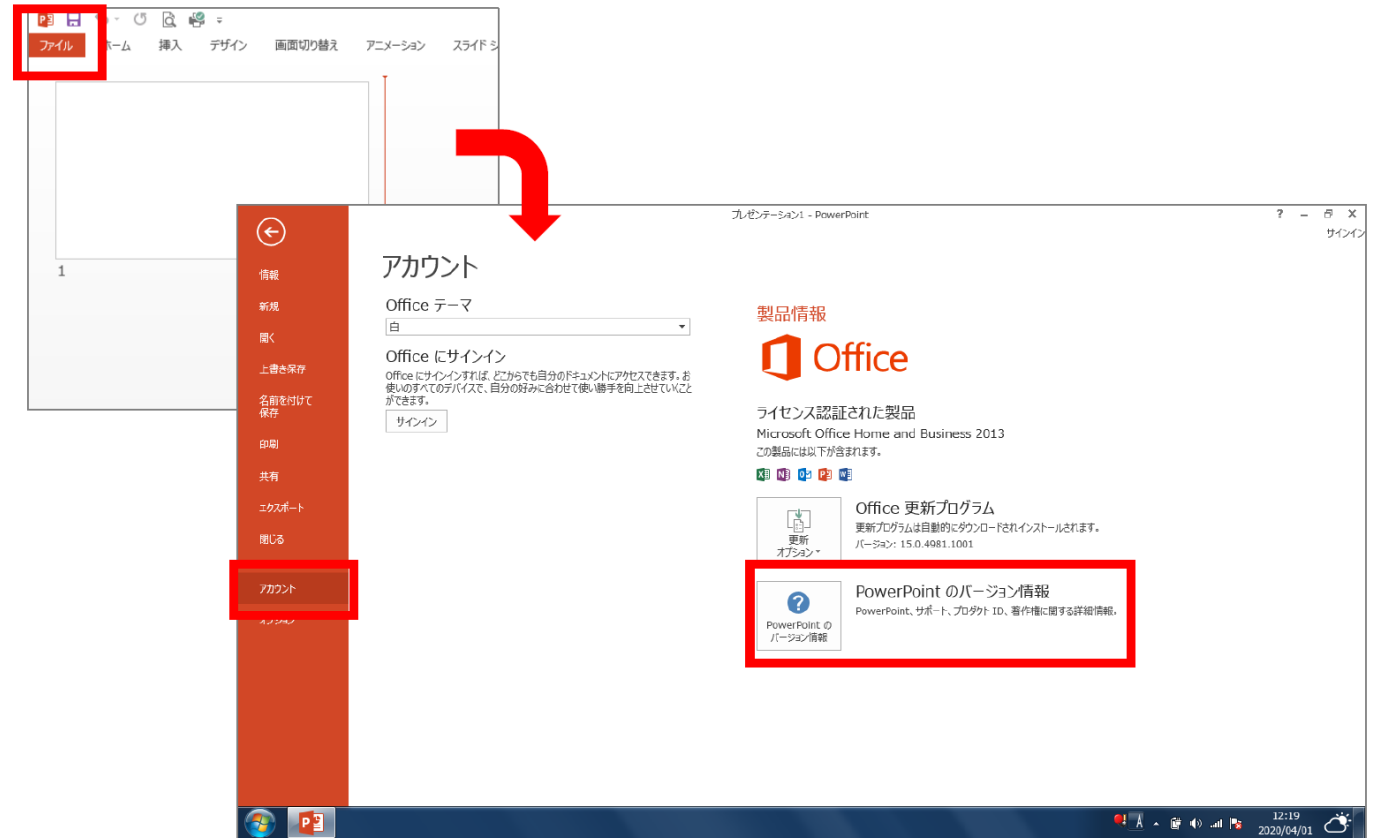
### PowerPointのバージョンを確認する方法

PowerPointを開く

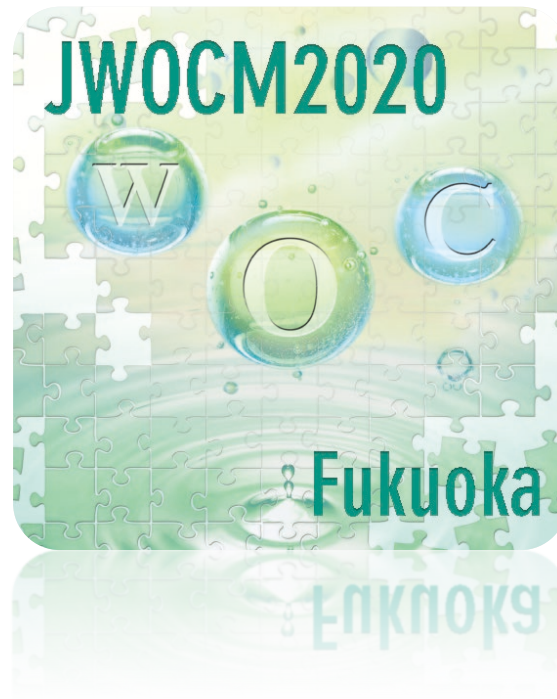
⇒[ファイル]のタブをクリック

⇒[アカウント]のタブをクリック

⇒[PowerPointのバージョン情報]のタブをクリック



A) Windows PowerPoint2019/Office 365の場合



# ①音声の録音

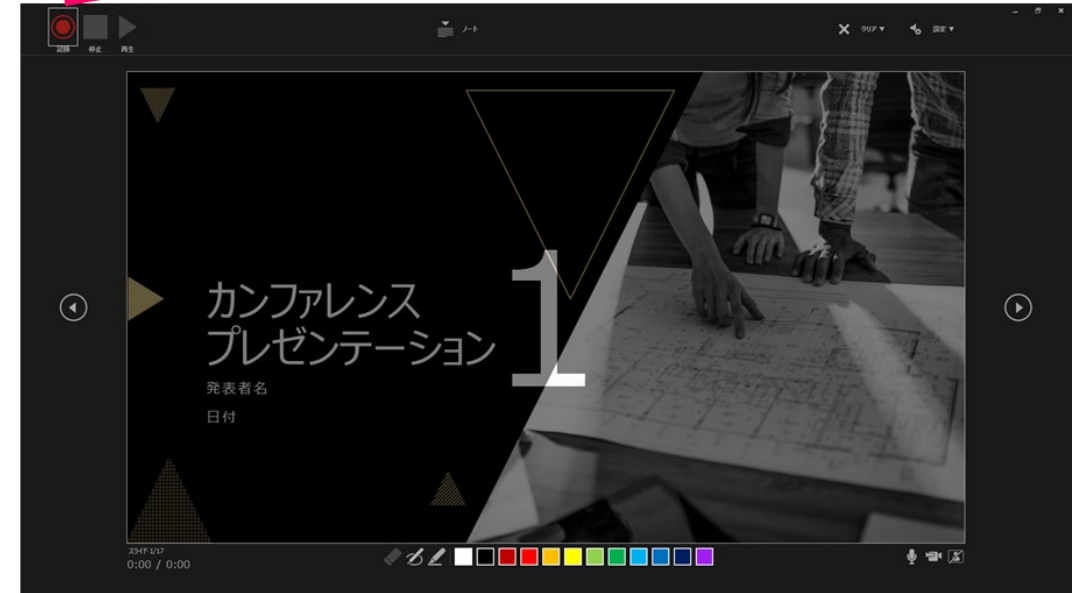
①[スライドショー]  
タブをクリック

②[スライドショーの記録]をクリック

④[記録の開始]をクリック



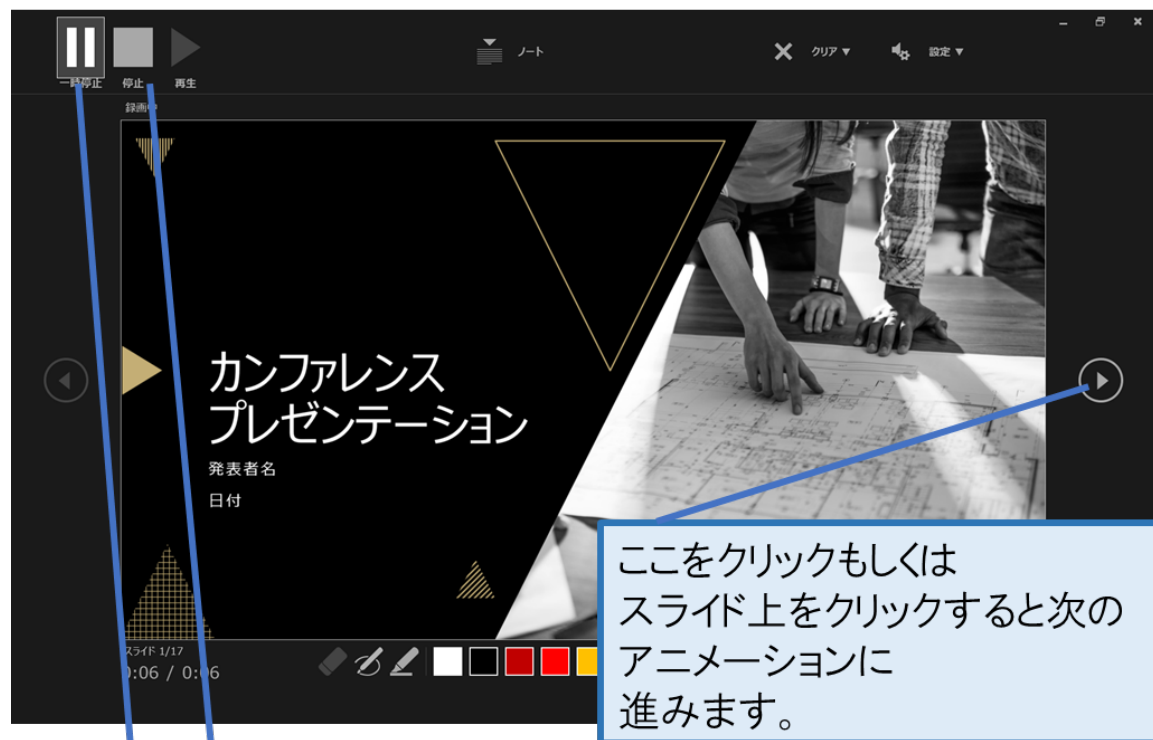
③[先頭から録音]をクリック





## A) Windows PowerPoint2019/Office 365の場合

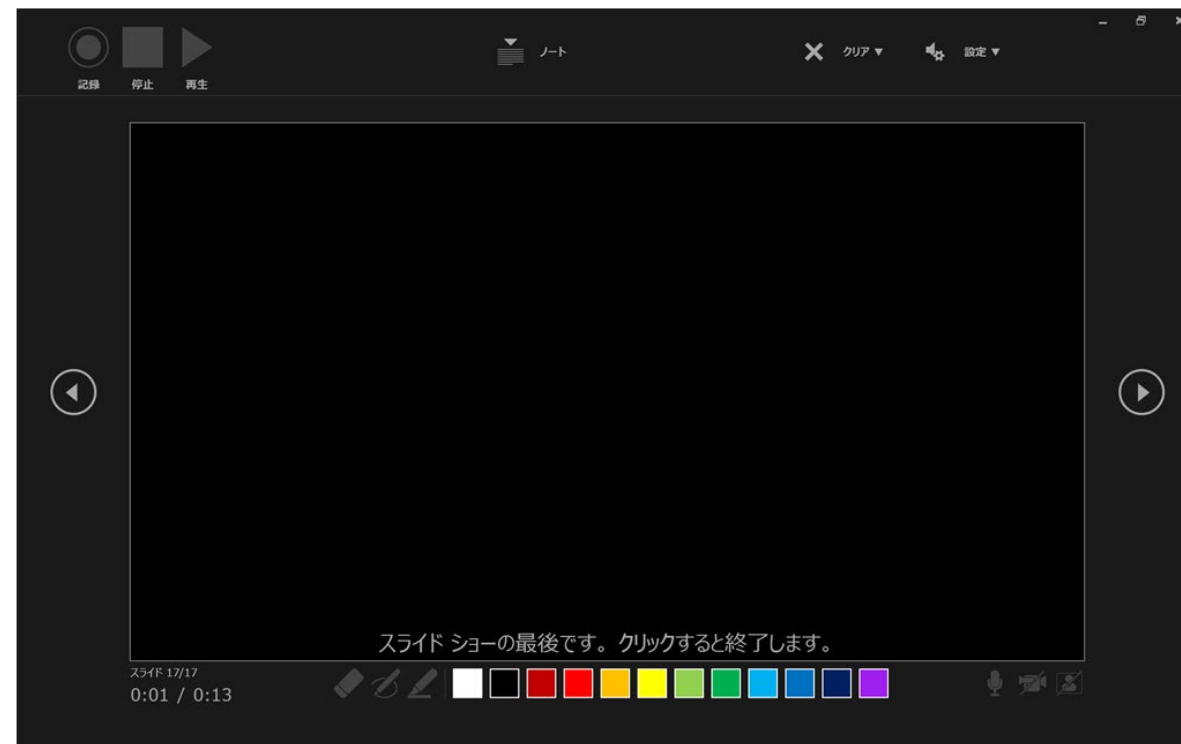
⑤マイクに向かってナレーション録音  
スライドも任意のタイミングで進める



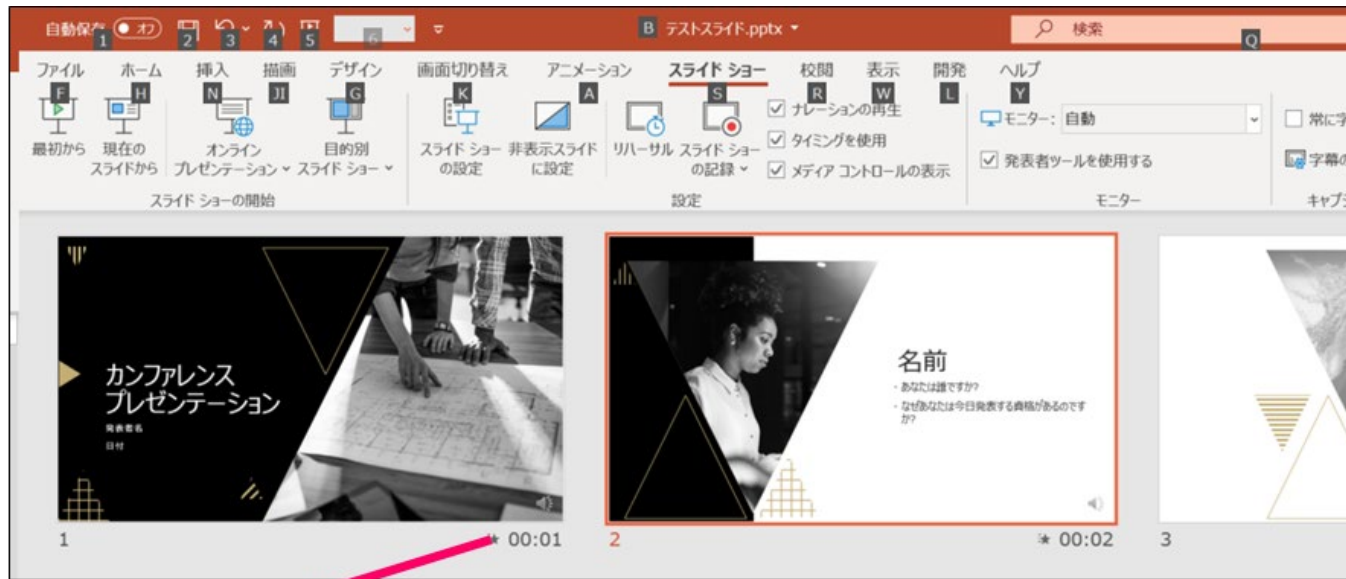
[記録の停止]をクリックすると  
そこまでの記録が残ります

[記録の一時停止]をクリック  
すると、再生中のアニメーションが止まります

⑥下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。  
スライドをもう1枚進めると元の画面に戻ります。



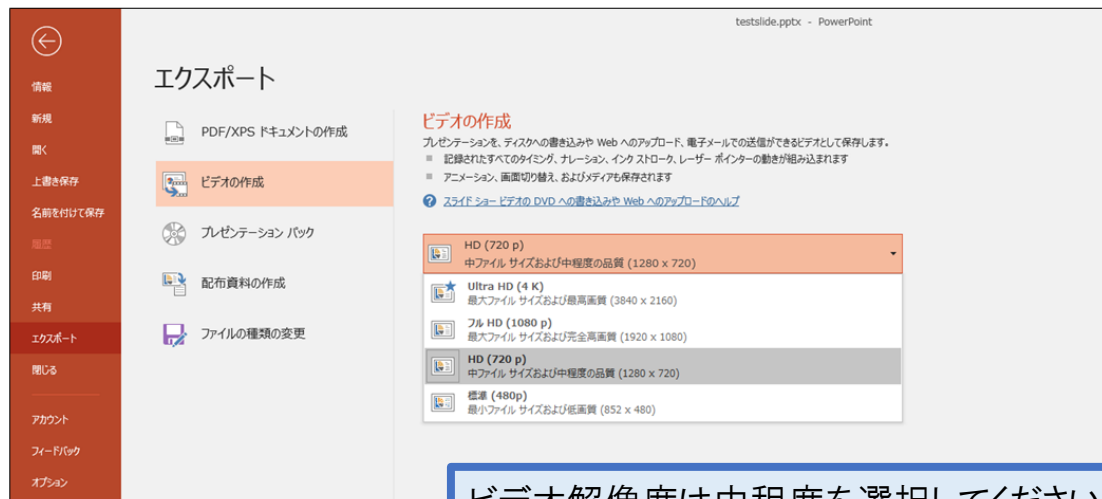
## A) Windows PowerPoint2019/Office 365の場合



- ⑦ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

## ②ビデオの作成

⑧スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します。



ビデオ解像度は中程度を選択してください。  
・スライドサイズ16:9の場合は[1280×720]  
・スライドサイズ4:3の場合は[960×720]



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。**20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります(コンピュータの性能によって多少変わります)。**

## B) Windows PowerPoint2013/2016の場合



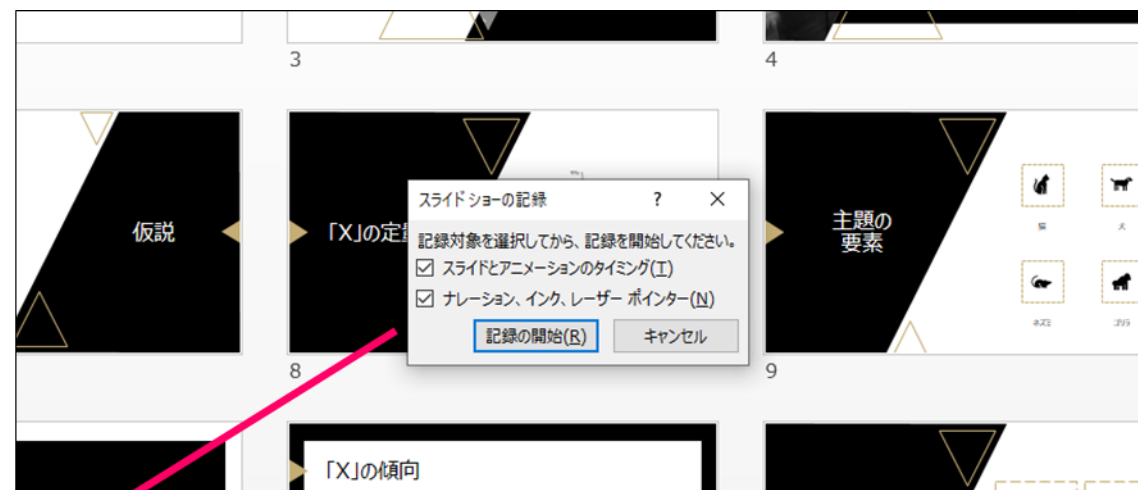
# ①音声の録音

①[スライドショー]  
タブをクリック

②[スライドショーの記録]をクリック



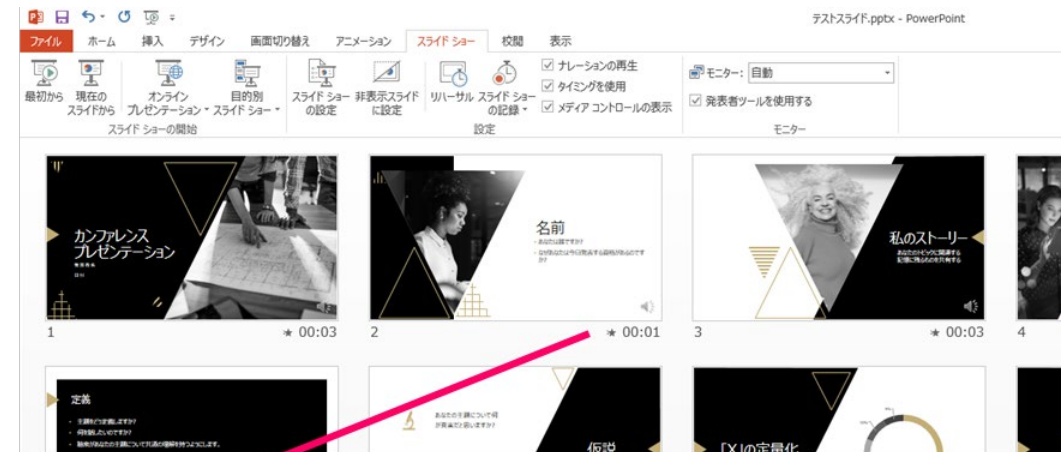
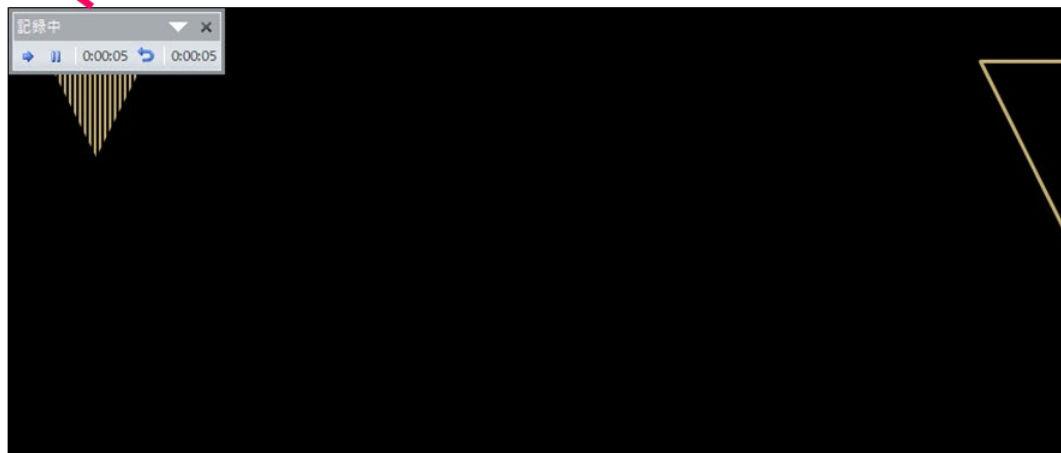
③[先頭から録音を開始]をクリック



④[スライドショーとアニメーションのタイミング]  
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが  
入っていることを確認して記録の開始

## B) Windows PowerPoint2013/2016の場合

⑤ 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライドー覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。



## ② ビデオの作成

⑦ スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します。



ビデオ解像度は中程度を選択してください。  
・スライドサイズ16:9の場合は[1280×720]  
・スライドサイズ4:3の場合は[960×720]



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。**20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります(コンピュータの性能によって多少変わります)。**

## C) Windows PowerPoint2010の場合





## C) Windows PowerPoint2010の場合

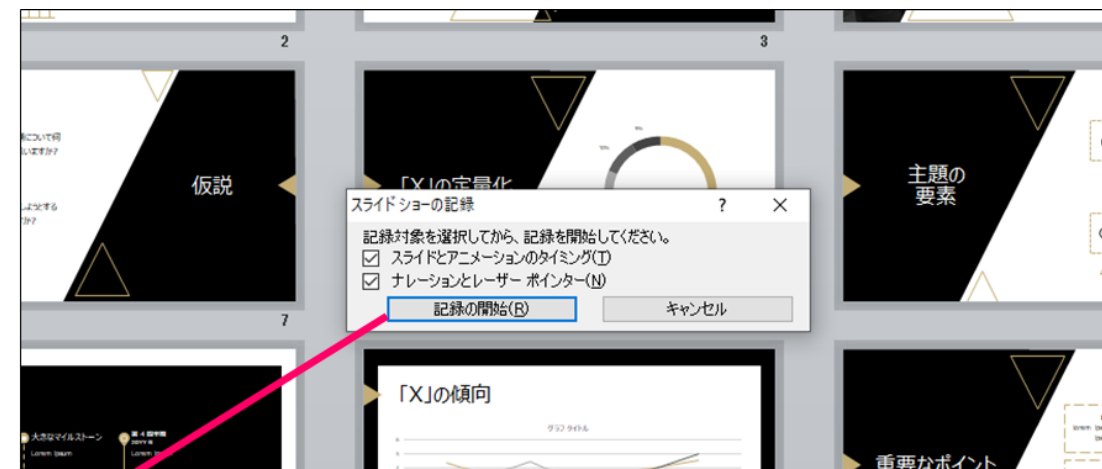
### ①音声の録音

①[スライドショー]  
タブをクリック

②[スライドショーの記録]をクリック



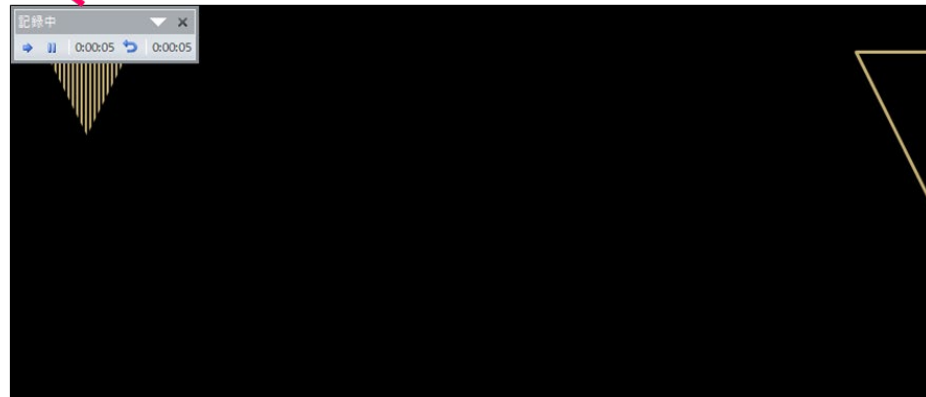
③[先頭から録音を開始]をクリック



④[スライドショーとアニメーションのタイミング]  
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが  
入っていることを確認して記録の開始

## C) Windows PowerPoint2010の場合

⑤ 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める

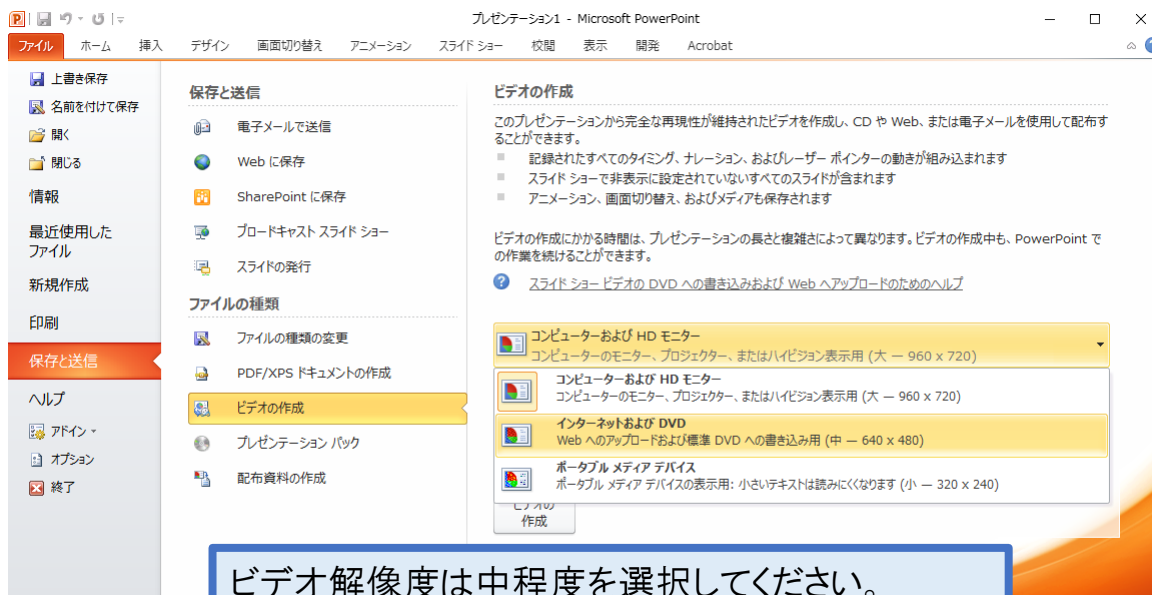


⑥ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

## C) Windows PowerPoint2010の場合

# ②ビデオの作成

⑦スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]  
で書き出します。



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択



最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**wmv形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

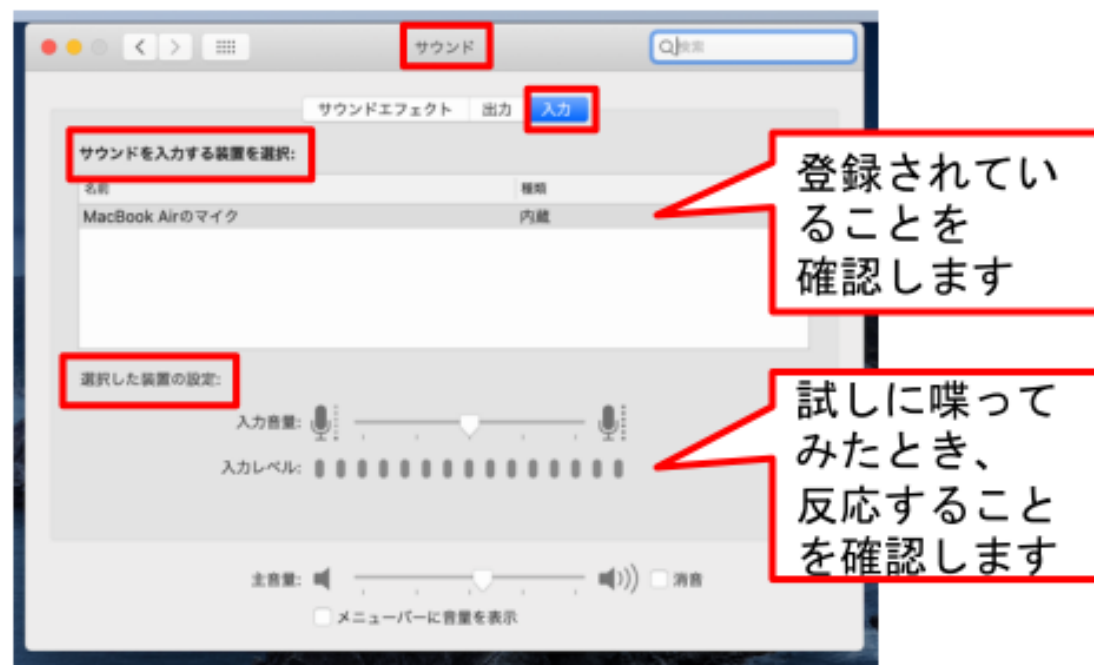
動画作成の進捗は、右下に表示されます。**20分のスライドショーから中程度の品質(640×480)の動画を作成するのに約20分かかります(コンピュータの性能によって多少変わります)。**

## D) Mac PowerPoint for Mac 2019の場合



## ①マイクの確認

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「選択した機器の設定」では試しに喋ったときに反応するか確認します。



## ② PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「プライバシー」>「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。





### ③ PowerPointでの録画の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり**録画が開始**します。

クリックすると画面が切り替わり録画が開始する

1枚目が選択されている状態であればOKです。

カーソルを合わせたとき、「先頭から録音を開始」という注釈が現れることがあります。

0:01 23:01 次のスライド

ショックとは  
東日本大震災により、  
地震・津波の被害状態を引き起こし、  
代替障害や被害被害が起る数兆的な状態。

ノートを入力

1/9

ショックについて

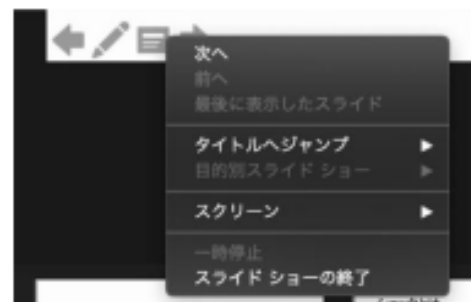
ショックとは  
東日本大震災により、  
地震・津波の被害状態を引き起こし、  
代替障害や被害被害が起る数兆的な状態。

ノートを入力

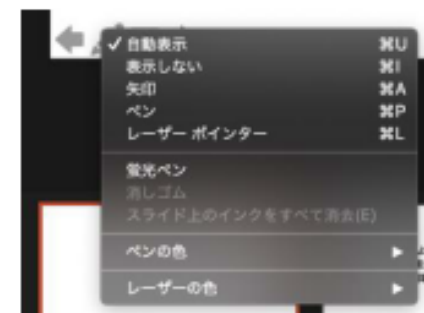
## ④ スライドショーの実施

いつも通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、**最終的に動画で記録されるのは、スライド移行のタイミングと音声のみ**です。また、**前のスライドに戻ると、戻ったスライド以降の録音を取り消される**ことに注意してください（**前のスライドに戻るのは推奨しません**）。

記録中も、左下のスライドショーツールバーから、一枚目または一個前のスライドに戻れます。ただ、戻るのは推奨しません。



左下のツールバーからペン、蛍光ペン、ポインターが使えますが、これらに関しては記録されません。





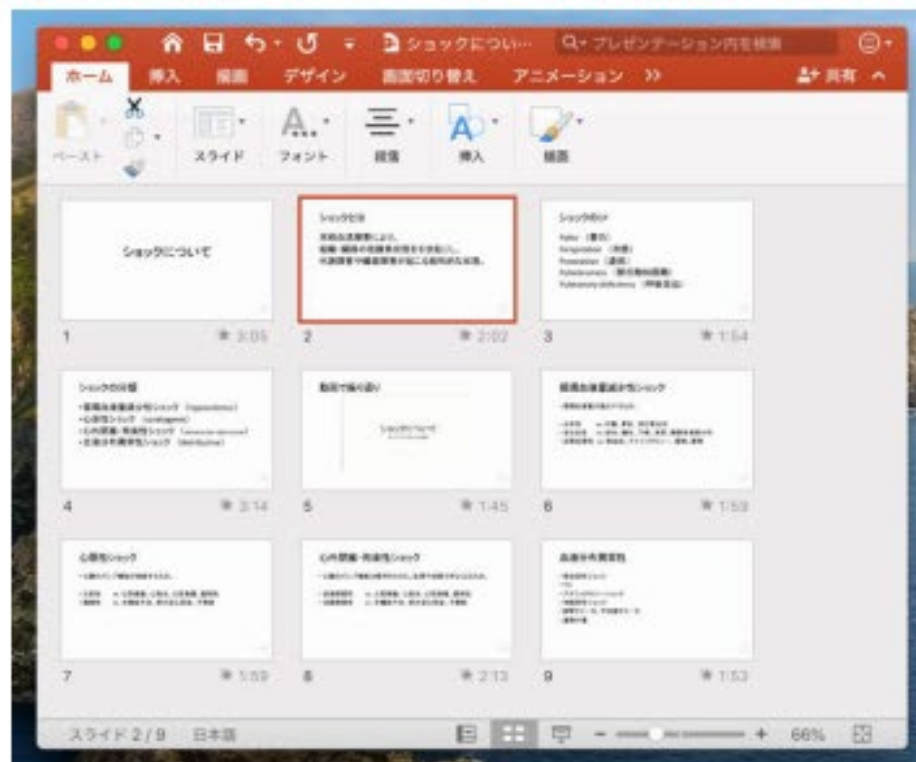
## ⑤ スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が現れるので、「はい」を選択します。



## ⑥ 動画に入れるスライドの選択

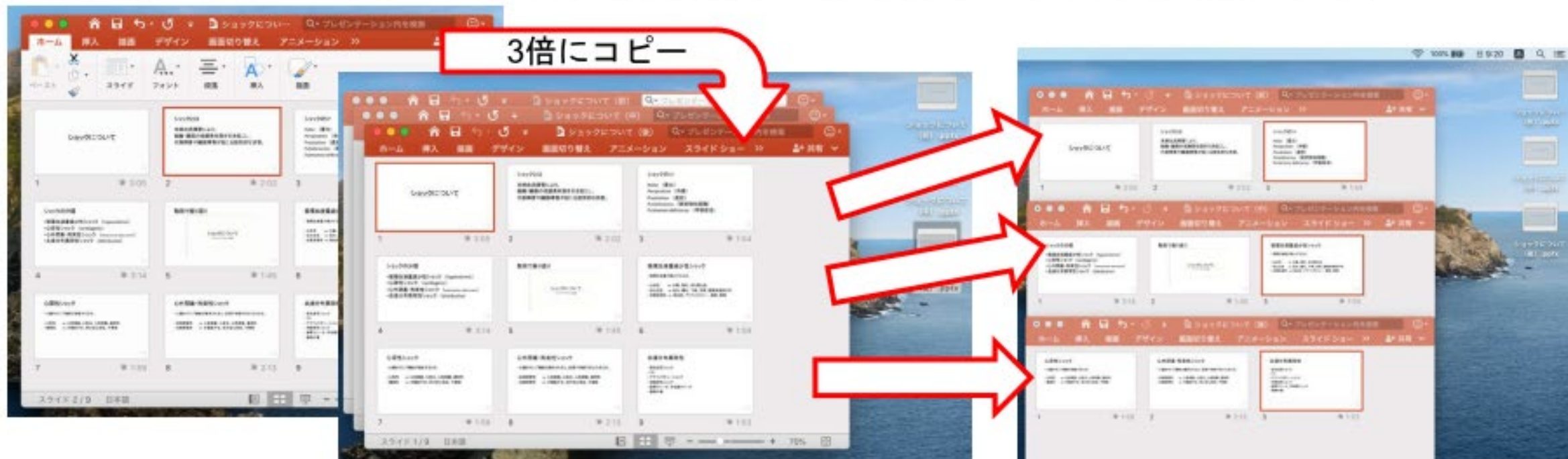
動画に入れるスライドを選択します。非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。**プレゼンで使用しなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、このタイミングで非表示スライドに設定することを推奨します。**



## ⑦ データの分割

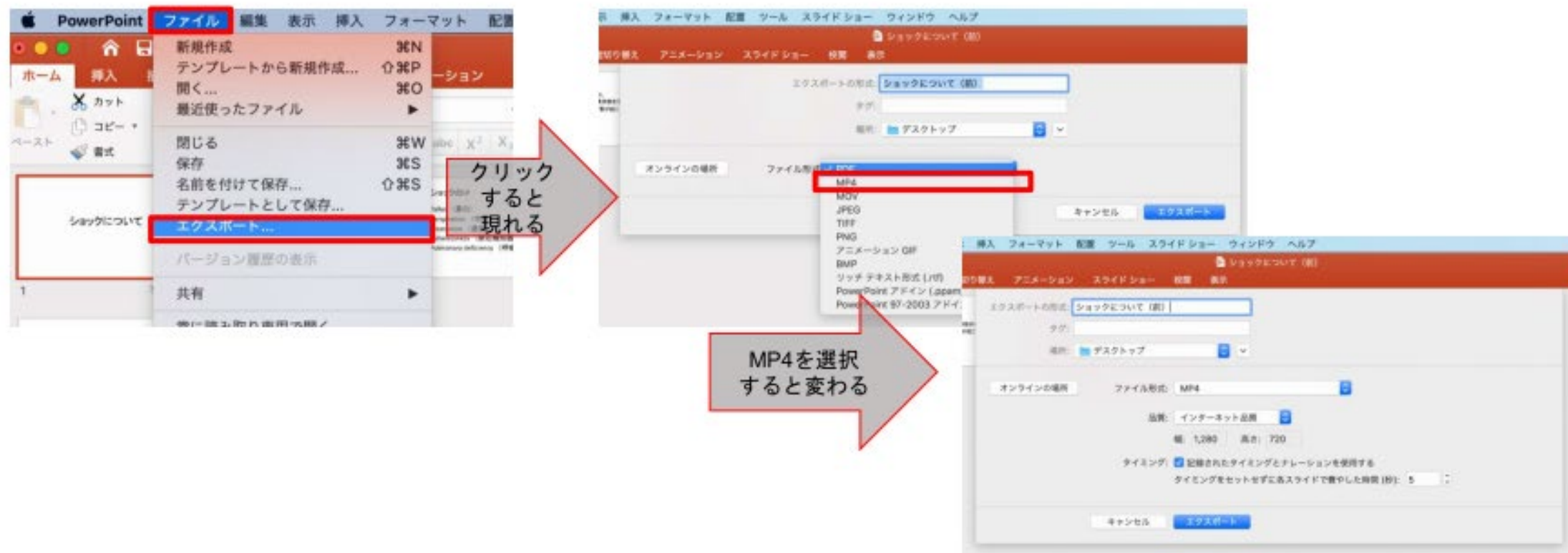
60分のスライドショーのデータを、20分の動画3本に変換するため、スライドを前中後の3つに分割します。

\* 以降(25~27ページ)の操作は、前中後のスライド群それぞれに行います。



## ⑧ 保存先の選択

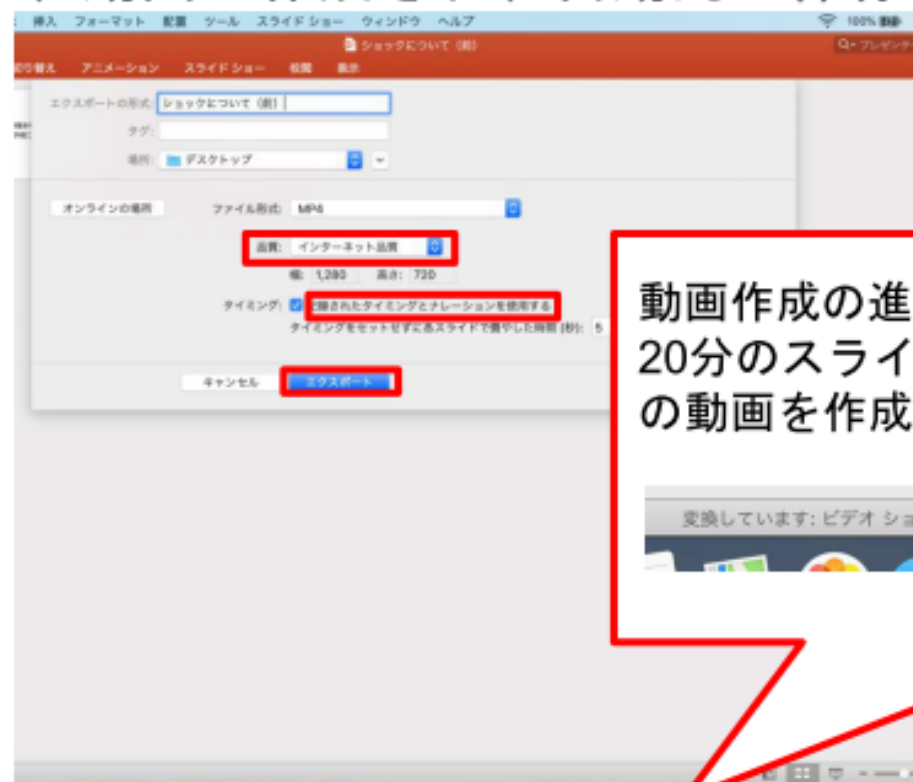
「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式でMP4形式を選択すると、詳細が設定できるようになります。





## ⑨ 画質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。

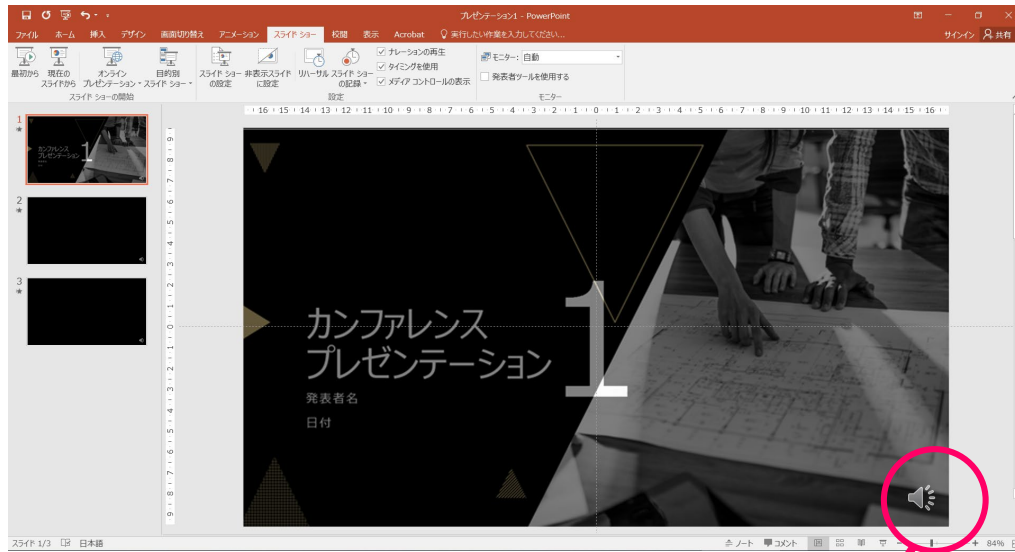


動画作成の進捗は、右下に表示されます。  
20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)  
の動画を作成するのに約10分かかります。

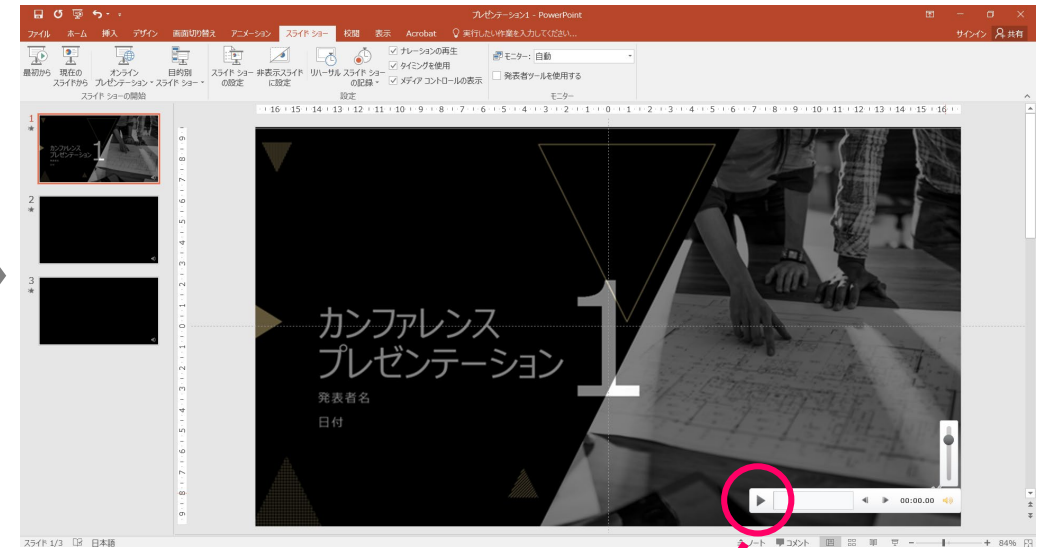


## [5] 便利な機能

### ①スライドごとの音声の確認方法



①スピーカーマークを押すと再生メニューが表示されます。



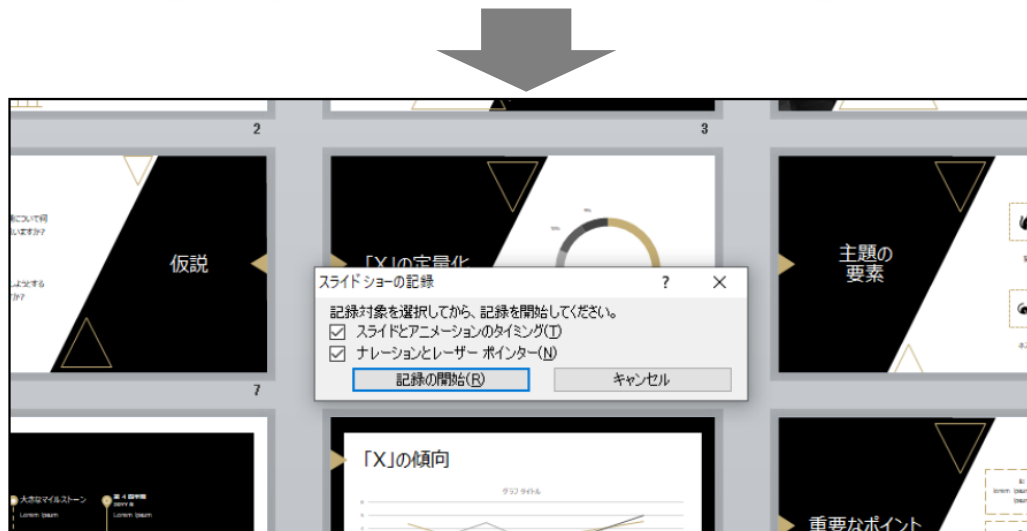
②再生ボタンを押すと録音した音声がかかります。

## ②特定のスライドの音声を録音し直す方法

①スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、  
取り直したいスライドを選択した状態で  
[現在のスライドから録音を開始]を選択



③やり直したいスライドのナレーション録音が出来ましたら[×]をクリックして下さい。  
録音開始から終了を押された時点までの音声  
が録音されます。



②音声録音

